

# 2008年度入試序章

## ～まもなく公募推薦入試出願開始～

### 推薦入試前期日程の 展望

9月23日(日)にAO入試の第1次選考が実施されましたが、続いて10月末からはいよいよ秋の本命、公募推薦入試前期日程の出願が始まります。大手予備校の方に、模擬試験受験者の志望動向やオープンキャンパスでの反応などから、2008年度畿央大学入試の傾向を解説してもらいました。

#### 〔健康科学部理学療法学科〕

ここ数年で大学の施設や学部・学科の増設が相次ぎ、理学療法学科の難易度は大きくダウンしています。畿央大学が新設された5年前は、関西で唯一の私立大学ということで志願者が集中しましたが、2007年度入試では、関西だけでも実に12大学が募集を行いました。全国的に見ても各地に理学療法士養成大学が誕生していることから、理学療法の志願者が一気に増えない限り、入試は大幅に易しくなりそうです。模擬試験の志望動向でも、オープンキャンパスの参加者数を見ても畿央大学の理学療法学科志願者は前年の70%前後で、大幅な志願者減少が予想されます。志願者分散による減少に加えて、併願他大学とのW合格も多くなるので、合格者数も増えると予想されます。幸い理学療法士の就職はまだまだ好調が伝えられています。受験生にとってはチャンス之年となりそうです。果敢にアタックしてください。

#### 〔健康科学部健康栄養学科〕

資格志向の高まりや女子の4年制大学進出の影響で、他系統に比べると倍率の高い



管理栄養士系統ですが、新しい学科の誕生などで毎年易くなってきました。模擬試験の志望動向やオープンキャンパスの参加者数も、理学療法学科ほどではありませんが、やや減少傾向のようです。2008年度も同様で、実質倍率はさらに下がる可能性があります。畿央大学に限らず、同系統は関西地区全体で若干易化傾向にあると言えるでしょう。

#### 〔健康科学部人間環境デザイン学科〕

新設当初は内容がわかりにくいとの声も聞かれましたが、建築系、インテリア系、アパレル系、環境心理学系、福祉住環境系の幅広い学科として受験生に浸透し始めました。特に工学部以外で建築士一級の受験資格がとれる大学として、人気も出てきました。ただ環境心理学を考えていた受験生の一部が、2006年に新設された教育学部に志望変更するケースもでてきており、流動的な動きとなっています。模擬試験の志望動向やオープンキャンパスの参加者数は若干減少といったところですが、もともとの

人数が少ないため、ちょっとしたことで大きく志願者数が動く傾向があります。定員の少ない学科なので、受験生の動きで難易度は大きくかわる可能性がありますから注意が必要でしょう。

#### 〔教育学部現代教育学科〕

2006年度に実施された初めての入試では、教育人気の影響を受けて新設としてはかなりの受験生を集めました。小学校教員免許が取得可能で、男子の通学が可能な大学が少なかったからです。ところが2007年度には全国的な教員養成課程の志願者減少を受け、畿央大学の教育学部でも2割程度志願者が減少しました。2008年度入試についても、模擬試験の志望動向は前年の80%前後で、志願者減少が予想されます。

#### 〔気になる看護医療学科の展望は？〕

理学療法ブームを先導してきた畿央大学の看護系学科ですので、受験関係者の注目度は一般に比べて高いと言えます。また最近新設された看護系学科の中には、唐突な感じのする大学が多いのに対して、畿央大学の場合は理学療法士、管理栄養士と、同じ学部内でのチーム医療の実践を特徴にしているところも評価できます。ただしAO入試やセンター試験利用入試を実施しない2008年度は、公募推薦入試や一般入試の定員が多いので、比較的ゆるやかな入試になると考えられます。

#### 公募推薦入試日程

試験区分	試験日	出願期間	合格発表日	
公募推薦入試	前期 A 日程	11月17日(土)PM	10月29日(月)～11月9日(金)	11月24日(土)
	前期 B 日程	11月18日(日)AM		
	前期 C 日程	11月18日(日)PM		
	後期 A 日程	12月16日(日)AM	11月19日(月)～12月7日(金)	12月22日(土)
	後期 B 日程	12月16日(日)PM		

## 2008年度入試問題 傾向と対策

# 英語・数学・国語・小論文・デッサン編

いよいよ入試本番が間近にせまってきました。受験生にとって最も気になるのが入試問題ですが、今回は推薦入試で出題される英語・数学・国語の3科目と小論文、デッサンについて書いてみます。

畿央大学では入試問題を作るとき、科目ごとに推薦前期から一般後期までのすべての回の問題の構成を、同じグループで考えます。したがって問題の傾向は推薦、一般を通じて同じような傾向となることが多いようです。ただし問題の難易度は、推薦入試では大学入試センター試験よりも易くなるように、また一般入試では大学入試センター試験と同レベルとなるような作問をこころがけています。形式もマークシート方式なので、センター試験とよく似ている科目もあります。

### 【英語】

大設問は4題で小設問は35～38問程度。前半が発音・アクセントや文法・語法の問題が中心で、後半が並べ替えの英作文と450ワード程度の長文読解という構成が今までのパターンです。標準からやや難というレベルで、平均点は50点を切る回もあります。特に後半の問題はやや難しいので、前半の問題でとりこぼさないことが、合格への必須条件となります。たくさん問題にあたって、語彙や語法の知識を増やす努力が必要です。また整序英作文ではイディオムの豊富さも重要になります。推薦入試や一般入試の2科目型では、科目数が少ない分、英語の結果が合否に影響を与えることが多いようです。十分な対策をしてのぞ

んでください。

### 【数学 I・A】

IとAの範囲から出題されますが、毎回の入試ですべての分野から出題されると思っておいた方が良いでしょう。数学は高得点がねらえる反面、失敗する受験生も多いので、不得意分野はしっかり訓練しておく必要があります。2007年度入試ではやや難解な問題が目立ちましたが、今年は少し易しい問題になると思われます。形式は昨年のお題でわかるように、答えを数字でうめてゆくものと、選択肢の中から選ぶものがあります。2008年度も同様と考えてください。また大設問は4題で第一問が小問集合、第2問以下がテーマ別の出題となっています。計算力の強化をこころがけてケアレスミスに注意してください。

### 【国語（現代文）】

大設問3題で、うち2題が読解という形式です。第一問では言語知識や文学史を問われます。漢字、四字熟語、慣用句、文学史など様々な形式ですが、過去に出題された形式はすべて今年も出題の可能性があると思ってください。2問出題されている読解問題は、小説と評論から1題ずつが基本ですが、必ずしもそうと決まっているわけではありません。また新聞の社会面からも時々出題されていますので、ふだんから目を通しておくことです。国語の問題は平均点の比較では他の科目に比べて高いことが多いですが、80点以上の高得点者はけっして多くありません。小設問の数も25問前後で多くないため、1問ごとの配点も高いの

で、しっかり確認して解答してください。漢字の問題ひとつでもケアレスミスをしないうよう、注意してください。

### 【小論文】

推薦入試「小論文試験」は、与えられる資料が英語で書かれているのが特徴です。最近の受験では一般的に小論文を嫌う傾向が強い上に、英語の資料ということで、受験生の反応はあまり良くないようですが、逆にいえばチャンスでもあるといえます。

英語の資料といっても問題自体は日本語の小論文ですから、200語～300語ぐらいの文章で、受験生が比較的読みやすいテーマを用意する予定です。また難解な部分があればヒントを加えるなどして、全体の文意をつかみやすいように工夫します。解答は2～3問程度の設定問に合計800字程度で解答することになります。もちろん発音や文法といった問題はありません。昨年問題でレベルを確認してみてください。

### 【デッサン】

人間環境デザイン学科のAO入試、公募推薦入試で実施している実技試験（デッサン）の評価は、1. 正確に形をとらえることができるか、2. 3次元が理解できているか（特に光による陰影）、3. モノの配置、見せ方、アイデア、4. 全画面におけるモチーフの大きさ、等が採点されます。芸術系大学のような高いレベルが要求されるわけではありませんが、学科が苦手というだけでなく、十分な練習を積んでから試験に臨む必要があるのは言うまでもありません。

## 2008年4月看護医療学科誕生！ 設置が認可されました

届出中だった看護医療学科の設置が認可され、健康と教育の総合大学を目指す畿央大学に、来春いよいよ看護師・保健師をめざす学科が誕生します。超高齢社会の進展、医療の高度化の中で、看護師、保健師が活躍するフィールドは大きく広がり、求められるレベルはますます高まっています。こうした社会や医療現場のニーズにこたえ、本学看護医療学科では、看護の知識・技術をしっかりと身につけるとともに、様々なスタイルの実習とその経験を学びあう実践的な教育を進めたいと考えています。

大学構内では、新学科開設に向けて現在第三講義棟の建設が急ピッチですすめられています。また実習予定施設もほとんど確定し、あとは開講を待つのみとなっています。

本学のカリキュラムの最大の特徴となっているコラボレーション授業では、健康科学部他学科との垣根をこえた実習や、心理学を重視する教育学部との協同授業を展開して、チーム医療の現場で通用する実践力と判断力、総合力を身につけます。そして、高い専門性を持っているだけでなく、なにより人が好きで、人の痛みを理解し、健康の喜びを分かち合える、人間性豊かな看護師を養成するのが、畿央大学の看護医療学科です。

### 実習予定施設一覧

基礎看護学・成人看護学・老年看護学・母性看護学・小児看護学実習

- 独立行政法人国立病院機構刀根山病院
- 独立行政法人国立病院機構大阪南医療センター
- 独立行政法人国立病院機構奈良医療センター
- りんくう総合医療センター市立泉佐野病院(災害拠点病院)
- 八尾徳洲会総合病院
- 特定機能病院奈良県立医科大学附属病院
- 市立奈良病院
- 医療法人友誼会西大和リハビリテーション病院

地域看護学・在宅看護学実習

- 河内医師会訪問看護ステーション
- 保健所・市町村保健センター等

精神看護学実習

- 独立行政法人国立病院機構松籟荘病院
- 大阪府立精神医療センター

# イギリス・バーミンガム大学での異文化体験実習

去る8月9日から9月5日までの約1ヶ月間、畿央大学で初めての異文化体験実習が行われました。これはイギリス中部のバーミンガム大学で開講されるサマースクール（語学研修）を受講し、修了者には2単位が認定されるもので、第1回目となる今年は2～4回生の希望者7名が参加しました。

8月9日、夕方にロンドンに到着し、ロンドン市内を観光した後、11日にバーミンガムへ移動。バーミンガム大学では大学寮に滞在し、バスを使って大学に通いなが

ら、午前と午後のサマースクールに参加します。参加中は、基本的に引率者は手助けをすることなく、学生それぞれが個人の力で（もちろん英語で）、文化や習慣の違う国での生活に挑戦します。何か困ったことやわからないことがあれば、日本人の引率者ではなく、バーミンガム大学のスタッフに相談します。授業で英語を学ぶだけでなく、生活のすべての場面で英語を使うことで英語運用能力の向上はもちろん、自分で考え悩みながら判断することで独立心の養成も目指します。

引率者と別れるときには不安で一杯の表情をしていた学生たちでしたが、3週間後再会したときには全員が堂々と英語でコミュニケーションしていました。短い間にすっかりした顔つきになり、たくましくなった学生を見ると、それだけでもこの実習が大成功だったことがわかりました。参加した学生は「英語を母国語としない国の学生とでも、英語を使えばコミュニケーションがとれるということを体験して、とても強く喜びを感じました。（人間環境デザイン学科4回生元根浩恵さん）」と感想をもらっていました。

語学研修の結果は、個人によって差はありますが、全員が渡英前よりも4技能（読む・聞く・話す・書く）のすべてに英語力の向上が見られました。3週間のサマースクールで効果的に英語力を伸ばすためには、現地での取組み方も重要ですが、何よりも日本においてどれだけ英語を勉強していたかが、大きな決め手となります。サマースクールに参加する前に、しっかりと文法を基礎とした地道な英語学習をしておけば、初めは慣れなくても、わずか3週間という期間で飛躍的に英語の実力を伸ばすことができるのです。

この実習は来年度からも引き続き実施予定です。日本にいる間にもしっかりと英語の勉強をし、現地でその能力を開花させる学生が増えることを期待しています。

異文化体験実習担当教員

竹下 幸男（現代教育学科講師）



バーミンガムへ列車で移動



バーミンガム大学寮



先生を囲んで



大英博物館にて

## 1期生インタビュー

福井県 公立小浜病院 勤務

芝田 都季子さん

（2006年度理学療法士学科卒・若狭高校出身）

—就職して半年、近況を教えてください—

現在、地元の公立病院で理学療法士として働いています。私の働いている病院では、急性期から慢性期まで様々な疾患を抱えた患者さんがおられます。そうした患者さんと向き合い、色々と悩みながらも楽しく充実した日々を送っています。最初は病院のシステムなど分からない事だらけでしたが、色々と先輩方に教えていただき、最近ではようやく慣れてきたところ。また、週一回の勉強会や各科別のカンファレンスなどがあるため、就職してからも知識や技術の向上に大変役立っています。

—医療の現場で感じることは？—

最近働いていてつくづく思うのは、「基礎って大事ななあ」ということです。基礎がしっかりしていないと、適切な治療プログラムを立てることもできず、患者さんに多大な迷惑をかけてしまいます。実際に勤

務して、大学で学んだ基礎的な知識・技術が臨床の現場でしっかりと活かされていることを実感しています。また大学では、基礎を生かした応用ももちろん学びました。特に、畿央大学では物理療法などの機器の設備が充実しており、授業で機器の使用方を一通り教えてもらえるので、就職後も積極的に治療プログラムに取り入れることができます。それだけでなく、脳波測定器などの高度な測定機器があるため、卒業研究ではより一歩踏み込んだ研究をすることができました。このことで、常に何かを追い求める姿勢が身についたと思います。

一方で、このような専門分野を学ぶことももちろん大事ですが、医療人として、さらに幅広い教養を身に付けることも大事だと思います。医療現場では患者さんやそのご家族、リハビリスタッフや様々な専門分野の人など、たくさんの人との関わりがあ



ります。そういう人たちとの間に信頼がなければ、よりよい医療を提供することはできません。そのために幅広い教養を身に付け、常に自分を磨く必要があると思います。

—受験生へのメッセージ—

臨床現場に立ってみて、4年間という大学生活はとても重要なものだったと感じます。これから理学療法士を目指す人、また違う専門分野に進む人にも悔いの残らない大学生活を送ってほしいと思います。頑張った分、必ず未来につながります。私も日々前進していきますので、みなさんも頑張ってください！

# 第30回全日本学生軟式野球選手権大会に出場!!

8月19日～22日に開催された第30回全日本学生軟式野球選手権大会に本学野球部が奈良県代表として出場しました。今年は第30回という区切りの記念大会であるとともに本学野球部にとっては2年連続の出場という名誉ある出場でした。

第1試合は愛知大学戦。1回裏にいきなり2点を奪われ、嫌な雰囲気の中、試合は流れます。中盤は畿央大学のペースでしたが、どうしても1点がとれない…。それでも6回に1点を返し粘りを見せますが、回もすすみ、最終回。最後の気合を入れて攻撃に挑み、土壇場で1点をもぎ取り同点として延長戦突入。延長11回には逆に3点を奪い、5対2として最後をエース前田君が締めて逆転勝利!! 全国大会初勝利をチーム全員で勝ち取りました。第2試合の相手は東都学生軟式野球連盟代表の中央大学。このチームはかなりの強豪でエースは50イニング無失点を続けています。1回に1点を取られ、主導権を握られそうになりますが、我がチームも粘りの野球をみせ、5分と5分の試合展開。両チームとも甲乙つけ難い粘りで、結局0対1で惜しくも敗



退。それでも全力を出し切ったすばらしい試合でした。

今大会で得た経験は他では味わうことのできないものであり、選手はこれを礎に今後も最高の試合をしてくれると思います。全国大会を通じて団体競技でしか得られない協調性や責任感、共有する喜びや哀しみ、様々な力が生まれていました。またこの経験を生かし、今後の学生生活にもすば

らしい力を養ってくれると思います。

入場行進や選手宣誓のシーン、試合の詳細は野球部のブログにて閲覧いただけます。ぜひご覧ください。

<http://blogs.yahoo.co.jp/kiobaseball>

軟式野球部顧問

今北英高（理学療法学科 准教授）

## 第5回 畿央大学大学祭～Smile～

10月27日（土）・28日（日） 10:00～19:00

吉本お笑いライブ 10月28日13:00～ ※無料

<出演者>メッセンジャー、シャンプーハット、野生爆弾

5回目を迎える畿央大学の大学祭（畿央祭）を10月27・28日の2日間にわたり開催します。今年は「Smile」をテーマに、模擬店はもちろん、縁日、フリマ、畿央ファッションショー、ソーラン節、メール早打ち大会、スタンプラリーなどさまざまなイベントを予定しています。会場の規模はそれほど大きくありませんが、ステージとの距離が近いので「吉本お笑いライブ」も間近で見ることができます。大学祭はどなたでも参加いただけますので、あなたも大学祭を盛り上げにぜひご来場ください!

### ミニオープンキャンパスも同時開催!!

<入試ガイダンス> 27日（土）13:00～／28日（日）11:00～

<個別相談会>（入試・学生生活・就職）

27日（土）14:00～16:00／28日（日）12:00～14:00

☆入試ガイダンス参加者にはガイダンス終了後、模擬店で使える500円分の金券をもらえなくプレゼント!

